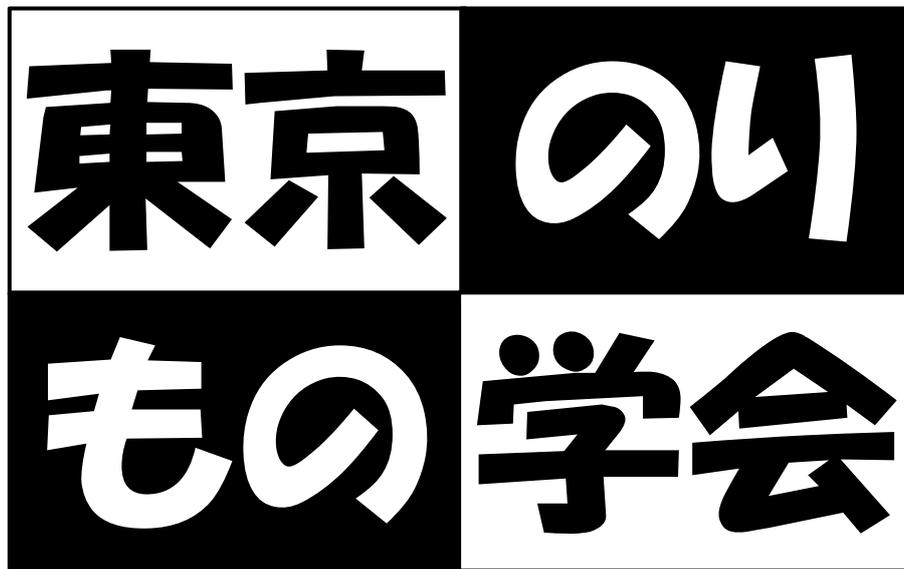


1998～2007 年に開催されていた
公共交通・旅行系同人誌即売会
20 年ぶり、一度きりの「再会」



東京のりもの学会
Revival 2027 年会 (仮称)

2027 年秋、東京近郊での開催を企画中です
ご期待ください

企画・主催：公共交通・旅行系サークル QDAT



<https://qdat.jp>



<https://qdat.jp/tpit/>



X(旧 Twitter) @tpit_qdat

詳しくは裏面をご覧ください

東京のりもの学会「再会」に向けてのメッセージ

私達 QDAT は、1998 年から 2007 年までの間、10 回に渡り「東京のりもの学会」を開催してまいりました。

今を去ること 30 年前、当時まだ学生であった私達は、東京での鉄道系同人誌即売会の開催を目指し、QDAT を立ち上げました。知名度も実績も、そしてイベント開催経験すら無いところから開催に向けて奔走し、1998 年 3 月 29 日(日)、今は無き「晴海客船ターミナル」で公共交通・旅行系オンリー同人誌即売会「東京のりもの学会第 1 回・1998 年会」の開催に漕ぎ着けました。

以後、「東京のりもの学会」は開催地を府中、両国、そして浜松町と移転しつつ、毎年春に継続して開催してまいりました。しかしながら、イベント規模の拡大、およびスタッフの環境の変化等の事情により、当時の運営体制での開催継続は限界を迎えたことから、2007 年 5 月 4 日(金・祝)に都立産業貿易センター浜松町館で開催された第 10 回・2007 年会を最後に、「東京のりもの学会」の開催を休止しました。

10 回に渡る開催を通じ、多くの方々に愛され、ご参加いただいた事は、20 年近くが経過した現在も、私達のかげがえのない財産であると考えます。

「東京のりもの学会」休止の後、この「公共交通・旅行系」ジャンルをメインとした同人誌即売会は複数開催されており、「東京のりもの学会」の影響を受けた(とされる)同人イベントが複数立ち上げられ、現在に至るまで継続して開催されています。このように、世紀を跨いで開催された「東京のりもの学会」は、「公共交通・旅行系」ジャンル、およびその周辺のジャンルに対し、決して小さくない影響を及ぼしたという自負はあります。

主催団体である「QDAT」は、2007 年に「東京のりもの学会」を休止して以降はほぼ活動休止状態にありますが、この間にも「制御方式入門」(第三版・第四版)、「私鉄車両絶滅図鑑 1995-2020」を発行してきております。

さて、2007 年の「東京のりもの学会」開催休止から間もなく 20 年を迎えるにあたり、私達 QDAT は、「東京のりもの学会」を一度限りの復刻開催をすることにいたしました。

「東京のりもの学会」休止後のこの 20 年を振り返っても、同人界は大きな変化がありました。SNS の普及、公共交通・旅行系および評論情報系同人誌の書店委託の増加、電子書籍やデジタル同人作品の増加に加え、2020 年東京オリンピックや新型コロナウイルス感染症を経た同人イベント開催のあり方の変化など、環境は大きく変化しています。加えて近年は非常に幅広いジャンルのオンリー同人イベントが増え、オールジャンルイベントからオンリーイベントへという流れも起きています。

私達の多くは 20 年近く同人界の第一線から離れており、昨今の公共交通・旅行系同人界の状況を完全に把握できているという訳ではありません。一方、「公共交通・旅行系」というジャンルは、流行に流されにくい、普遍的なものを備えています。「東京のりもの学会」に参加されていて現在も活動を継続されているサークルさんが少なくない一方で、その後新たにこのジャンルに参入したサークルさんも非常に多く、新しい観点を持った作品が生み出されているという事を感じます。

私達としては、次回の「東京のりもの学会」を、過去の開催手法を忠実に再現するという形ではなく、現代の同人イベントの形へとアップデートした形での開催を考えております。これにより、過去を懐古する「同窓会」に留まらず、この「公共交通・旅行系」ジャンルの将来に向けた更なる活性化に貢献したいと考えております。

「東京のりもの学会 Revival 2027 年会」(仮称)の開催場所・時期等は現時点では未定ですが、都内またはその近郊の会場で、開催時期としては 2027 年秋頃を考えております。規模としては、最大規模となった第 10 回・2007 年会(131 サークル)と同程度またはそれを上回る規模を想定しております。

詳細は決定し次第お知らせいたします。本件につきましてご意見・ご感想等ございましたら、遠慮無くご連絡ください。

かつて「東京のりもの学会」に参加されていた皆様との「再会」、そして新たな出会いを、心より楽しみにしております。